



「長崎っ子の心を見つめる教育週間」ありがとうございました。

7月1日(月)から7月6日(土)までの「長崎っ子の心を見つめる教育週間」では、お忙しい中にご参観とご参加いただきました。「土曜授業」では、大村市教育委員会から川下教育次長様にもご高覧いただきました。生徒の姿や学校環境など、玖島中の教育活動の一端を、保護者の皆様をはじめ地域の皆様方、延べ529名にのぼる方々に玖島中学校へお越しいただき、ご覧いただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

1校時の「道徳の授業公開」では、1年生は「震災で最愛の息子を失い絶望に苦しむ母親が、悲しみを乗り越えていく姿から、命の尊さ、命のつながり」を考えました。2年生は「右大腿骨骨肉腫を患った主人公が、生きる希望を失わず、家族とともに病気と向き合い、戦う姿から懸命に生きる」ことについて考えました。3年生は「臓器提供意思表示カードや、子を持つ親と医師の2人の臓器提供に関する投書とおして、自他の生命の尊さや価値観」について考えました。「どのクラスも真剣な姿でした。」「闘病生活、生きることへのメッセージ、聞いていて親としても心を揺さぶられるものがありました。」「とても熱心に授業されていて良かったです。」などとコメントをいただいています。

2校時の「命を見つめる集会」では、松本先生や西尾さんのお話により「がん」について正しい理解、怖がり過ぎず「自分ごと」として受止める時間となりました。「自分をはじめ、周りの人たちの健康と命の大切さ」について考える機会となったことと思います。「難しくごめんね」と何度も優しく語られる松本先生、医学的な切り口をかみ砕きながら温かく語りかけるようなお話でした。実体験、経験の中で感じた思いや不安、悲しみ、心の揺れ……そして自分らしさ……経験者としての西尾さんのお話でした。「がん」についての正しい捉え、向き合い方、自分らしく、私らしく生きることについて生徒たちの心に届けていただきました。

3校時の「学級懇談会」は、「メディア使用について」というテーマで実施しました。「研究推進部の保護者アンケート」から、我が家の現状、そこから感じることや思っていること等、我が子の状況等を自由に出していただきました。そして、「養護教諭部会入学説明会資料(R5)」から、お子さんの使用状況をチェックしながら、「市P連 我が家のメディアルール」から見直しの必要性、家庭のルールづくりについて考えました。

昨年度に引き続き皆様アンケートにご回答をいただきました。左記のとおり生徒の姿が昨年度よりも高評価となり、他の項目も向上しています。コメントの中には、「今回の道徳、講話どちらも内容の濃いもので、親子で学べました。」「命について考える時間は、子供にとっても、保護者としてもとてもよい時間だったと思います。」「笑顔であいさつしてくれてとても気持ちよかったです。」「生徒たちが、自分たちで行動し、授業を受ける態度など感動しました。」「先生をはじめ学校の雰囲気良かったです」などとコメントされていました。励みとしながら、今後も玖島中の教育活動に取り組んでいきます。

公開授業アンケート結果(4段階評価平均)

質問項目	R4	R5	R6
1 生徒は主体的に授業に参加している。	3.17	3.45	3.49
2 生徒は進んで挨拶をする。	3.13	3.31	3.45
3 教師の言葉遣いはいいである。	3.61	3.64	3.67
4 掲示物が整然と掲示されている。	3.61	3.70	3.72
5 校舎内(教室等)の環境が整っている。	3.65	3.70	3.73
6 校舎外(グラウンド等)の整備が整っている。	3.59	3.60	3.62

飛耳長目

人に対して好意をもてば、人も自分に好意をもつようになり、人はこちらの向き合い方次第で怒ったり笑ったり、また敵になったり味方になったりするものです。また、人に親切にせず、人の親切を期待してはいけません。犬が人をかんだりじゃれつくのも、叩くか撫でるかの接し方で決まるのです。山びこで考えてみてください。「ヤッホー」と返ってきます。「バカヤロー」と叫ぶと「バカヤロー」と返ってきます。「バカヤロー」と返ってくるはずですが、友達に親切にすると、友達から親切が返ってきます。人の悪口を言うとは必ず自分の悪口となつて返ってきます。つまり、プラス思考の人にはプラスの山びこが、マイナス思考の人にはマイナスの山びこが返ってきて自分を取り囲んでいきます。親切も悪口もこだまするのです。

人に温かく前向きな気持ちで接していると、明るく楽しい仲間が生まれ、さらに自分に磨きがかかります。一方、人に冷たく後ろ向きな気持ちで接していると、暗くつまらない仲間に取り巻かれ、自分の誤りにも気づかず、くすぶり続けます。

お知らせ

濱崎愛菜先生(1年所属、理科、女子バスケット部顧問)が、7月1日から産前休暇に入られています。